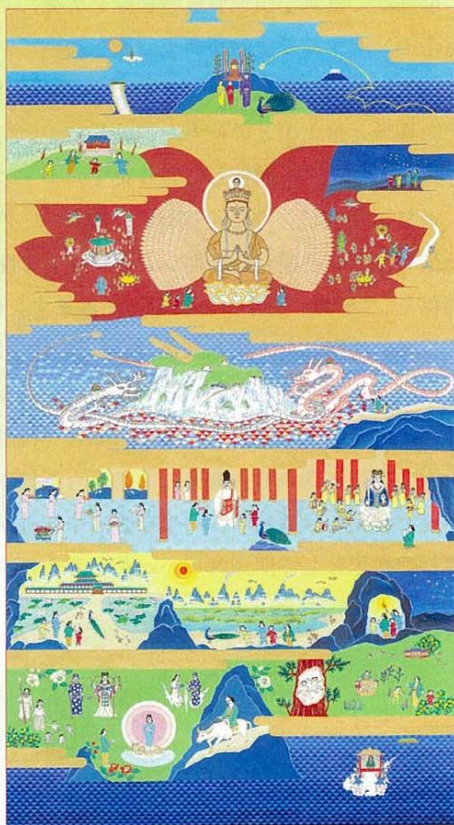


伊豆マンダラの世界

～伊豆・富士山の信仰の接点



▲伊豆マンダラ



▲伊豆マンダラ Eden

令和元年

日時

11月3日 日

13:30～16:00 (開場13:00)

(定員100名・先着順)

会場

熱海市いきいきプラザ (保健センター)

7階多目的会議室

(熱海市中央町1-25)

アクセス JR熱海駅から徒歩で約15分。

熱海駅からバスで「市役所前」下車徒歩すぐ。

当日 13:00 開場、先着100名まで。

事前申し込み不要です。当日直接お越し下さい。

当施設は駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

Mt.Fuji
World Heritage Seminar

プログラム

開場・受付 13:00～

開催挨拶 13:30～13:40

熱海市教育委員会・静岡県富士山世界遺産センター

講演① 13:40～14:00

講師：大高康正 (静岡県富士山世界遺産センター准教授)

テーマ：伊豆・富士山の信仰の接点

講演② 14:00～14:50

講師：阿部美香 (昭和女子大学非常勤講師)

テーマ：伊豆マンダラの世界を語る

休憩 14:50～15:00

講演③ 15:00～15:50

講師：深澤太郎 (國學院大學博物館准教授)

テーマ：伊豆峯と富士山

－伊豆・駿河・甲斐・相模の初期修験－

閉会挨拶 15:50～

静岡県富士山世界遺産センター



お問い合わせ先

静岡県富士山世界遺産センター

TEL: 0544-21-3776 FAX: 0544-23-6800

E-mail: mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp

熱海市教育委員会生涯学習課文化交流室

TEL: 0557-86-6234 FAX: 0557-86-6606

E-mail: bunkakoryu@city.atami.shizuoka.jp

主催：静岡県富士山世界遺産センター・熱海市教育委員会



静岡県富士山世界遺産センター

伊豆マンダラの世界 ～伊豆・富士山の信仰の接点

静岡県では富士山世界遺産登録を契機に「富士山学」の構築を目指し、富士山に関する総合的な調査研究を進めています。その拠点施設となる静岡県富士山世界遺産センターでは、平成27年度より各市町と連携して、その地域と富士山との様々な関わりについて掘り起こしを行う富士山世界遺産セミナーを開催しております。

通算第10回目となる今回は、「伊豆マンダラの世界～伊豆・富士山の信仰の接点」と題した公開シンポジウムを開催し、伊豆半島と富士山の関係を、「信仰」をテーマに考えてみます。伊豆・富士山との関係性は、12世紀に活躍した末代上人が、熱海市の伊豆山権現（現在の伊豆山神社）で修行し、富士山頂に経典を埋納したことは有名です。また、『走湯山縁起』に登場する伊豆山開祖の三仙人「松葉」・「蘭脱」・「金地」は、富士山の開祖とされる人物との共通点も指摘されています。つまり、伊豆半島と富士山は共通する由来をもつ宗教者が存在し、彼らによって山岳修行の聖地として開かれていったと考えられるのです。



講師紹介

大高 康正（おおたか・やすまさ）

専門は日本中世史。静岡県富士山世界遺産センター准教授。

主要著作に『参詣曼荼羅の研究』（岩田書院、2012年）、『富士山信仰と修験道』（岩田書院、2013年）など。

阿部 美香（あべ・みか）

専門は日本中世文学。昭和女子大学非常勤講師。

主要論文に「二所三島の社頭図—中世霊地図像の展開」（佐野みどり・新川哲雄・藤原重雄編『中世絵画のマトリックス』青簡社、2010年）、『箱根権現縁起絵巻』の再創造—描かれた霊地」（阿部泰郎編『文化創造の図像学』勉誠出版、2012年）など。

深澤 太郎（ふかさわ・たろう）

専門は日本考古学。國學院大學博物館准教授。

主要著作に「『伊豆峯』の考古学—伊豆修験の形成と展開」（『國學院大學博物館研究報告』第31輯、2016年）、『伊豆修験の考古学的研究—基礎的史資料の再検証と「伊豆峯」の踏査—（Ⅰ）・（Ⅱ）（國學院大學、2012・2013年）など。